

みんなのた場



牡鹿地区・大谷川浜

渡辺 隆介君(9歳・大原小学校3年)
 隆介君(6歳・牡鹿地区保育所)
 美月ちゃん(1歳)

ホタテ養殖業を営む渡辺隆太さん(35)方は7人家族。妻富美子さん(34)、2男1女の子どもたち、父喜代寿さん(69)、母恵美子さん(66)の3世代が海を見渡す高台で一緒に暮らしています。

隆太さんは男ばかりの3人兄弟の次男。同じパン職人だった富美子さんと結婚し、神戸にいましたが、東日本大震災を機に古里にUターンし、家業の漁業を継ぎました。

津波で実家が流され、一時は一家で渡波地区で生活していましたが、古里への愛着と「仕事場に近い方が通いやすい」との理由から、実家跡近くに整備された防災集団移転団地に3年ほど前、自宅を新築し、移り住みました。

2男1女元気にすくすく



(右から)富美子さん、美月ちゃん、隆介君、恵美子君

長男の隆介君は、真面目でマイペースな性格。好きな教科は算数と体育。小学生になってから水泳とピアノを習っていて、将来は小学校の先生になるのが夢です。今も弟を相手に学校ごっこに夢中です。

次男の隆介君は保育所年長組で、今春には小学校に入学します。スポーツ大好き、活発な性格で、元気いっぱい遊び回る毎日です。将来は、仮面ライダーのような正義の味方、「強い人になりたい」そうです。

長女の美月ちゃんは一家のマスクト的な存在。渡辺家本筋としては「80年ぶりの女の子誕生」であり、みんなからかわいがられています。

3人を見つめる母の目は優しいさいっぱい。「仲良しきょうだいです。成長してもその気持ちを忘れないでほしいですね」と富美子さんは願っています。

漁業は震災で大きなダメージを受けました。ホタテ養殖の再生も平たんな道のりではありませんが、回復の兆しは見え始めているそうです。隆太さんは「明るく伸び伸びと。一家団らんを大切に暮らしたい」と話しています。

石巻市立桜坂高等学校 桜坂だより 第11号

こんにちは、桜坂高校です！
 私たちは、いろいろな方々との交流や講演会などを通じて、一人の人間として力強く生きていくための「人間力」を身につけています！

12月11日(水)
 イタリア・チビタベッキア市の高校生が来訪。学校紹介や和服の着付け、昼食などを通して交流を深めました。

12月18日(水)
3年生:親教育講座
 20組以上の子育て真っ最中のママと赤ちゃんが来校！
 子育ての話を聴いたり、赤ちゃんを抱っこさせてもらったり…親になるための教育としての体験でしたが、今まで育ててくれた両親への思いも感じた時間でした。

1月15日(水)
3年生:総合的な学習の時間「社会の常識とマナー」法律講座
 石巻出身でテレビ番組にも出演している佐藤大和弁護士に來校いただき、トラブルから自分の身を守るために必要な法律知識についてお話しいただきました。

64 長寿のひけつ

お祖母が大好き

松川 りんさん 100歳(旭町)

松川りんさんは大正9年1月5日、3男1女の長女として塩釜市吉津で生まれました。23歳で松川仁さんと結婚し、石巻市旭町に嫁ぎました。2男1女に恵まれ、孫6人、ひ孫2人がいます。仁さんは平成10年に他界し、現在は長男の尚義さん夫妻、孫2人と5人で暮らしています。

仙台市の三島学園で和裁を学び、結婚後は自宅で教室を開き、83歳ごろまで指導しました。大勢の生徒たちから、今でも「先生」と慕われています。

社会的で世代を問わず誰とでも仲良しになれます。大きな病気やけがは無く、天気の良い日は1人で歩いてバスに乗り、買い物に出かけるほど元気です。

掛けるほど元気です。一番の楽しみは毎月1回欠かさずに参加する5泊6日の温泉バスツアー。年下の人と一緒に話したり行動したりしていると、自分も同じ年代に若返った気持ちになります」と話します。

1日1回は外に出て歩くことや毎月の温泉ツアーが長寿の秘訣のようです。

食育推進 コーナー

《朝ごはんを食べよう!》

朝ごはんは1日のパワーの源であり、朝ごはんを食べると、寝ている間に低下した体温を上昇させ、からだは1日の活動の準備を整えます。また、毎日朝食を食べる子どもは、学力調査の平均正答率や体力テストの合計点が高い傾向にあるという調査結果も報告されています。

平成29年の市民食育アンケート調査では、朝食を「ほとんど毎日食べる」が約80%、また小中学生も前回と比較すると、残念ながら減少傾向にあることが分かりました。

1日の始まりである朝食を規則的にとり、生活リズムをつくっていくことが、健康的な生活習慣にもつながります。朝ごはんでき生き生きとした1日のスタートを切りましょう。

石巻市食育推進会議副会長 有見 正敏
 健康推進課(内線2617)

河北 心の中の鬼 みんなで退治

大谷地保育所で「豆まき会」



Topic of town まちの話題



大谷地保育所で2月3日、節分にちなんだ「豆まき会」が開かれました。1歳児から5歳児までの29人が手作りした鬼のお面を付けてホールに集合し、豆まきにちなんだ歌やダンスを元気に演じました。続いて「泣き虫」「好き嫌い」「片づけない」「いじわる」の悪い鬼をやっつける寸劇を先生たちが披露。全員でカラーボールをゴールに投げ入れる「豆まき」をして、心の中の悪い鬼たちをしっかりと退治しました。

雄勝 お笑いで古里に熱い声援

あっぺとっぺの助さん演芸会

NPO法人雄勝まちづくり協会など主催の演芸会「笑う門には福来たる」が1月13日、雄勝小・中学校で開かれました。素人芸人ひとり座「おだづもっこ〜ズ」として仙台市などの高齢者施設などを慰問している、あっぺとっぺの助さん（本名山崎孜さん）が、中学3年まで住んだ雄勝町の思い出などを歌、踊りも交え楽しく披露し、約60人の来場者の爆笑を誘いました。



石巻 一年の願い 3神社巡る

48人参加し初詣ウオーク

市内3神社を巡って一年の幸を願う石巻ウオーキング会（斉藤恒彦会長）主催の「初詣ウオーク」が1月19日に開かれました。会員と仙台市、利府町、松島町などのウオーキング愛好者ら48人が参加。石巻駅に集合し、準備体操した後、元気に出発しました。湯殿山神社、羽黒山鳥屋神社、鹿島御子神社の順に訪問し、参加者それぞれに家内安全や健康維持などを祈願しました。



桃生 神楽の魅力じっくり堪能

長生大学が鑑賞会

桃生町長生大学など主催の神楽鑑賞会が1月29日、桃生公民館文化ホールで開かれました。桃生地区にある、寺崎の法印神楽保存会、檜崎法印神楽保存会、神取・給人町法印神楽保存会の3団体が神代にまつわる「日本武尊」「五矢」「蛭子の舞」の演目を順に披露しました。貴重な民俗芸能として神楽を継承している土地柄だけに、受講生や一般市民はその魅力をじっくり堪能しました。



河南 スポ少団員が綱引き・縄跳び

駐在所杯で結束力競う

河南地区駐在所杯争奪綱引き・縄跳び大会が2月2日、広瀬小学校講堂で開かれました。地区内の野球、サッカー、剣道、射道のスポーツ少年団12団体から選手と保護者ら約300人が参加し、綱引きと長縄跳びの団体戦、縄跳びの個人戦で体力や結束力を競いました。綱引きは、選手だけの単位団部門と、選手と保護者でチームを組むふれあい部門もあり、親子が力を合わせて懸命に綱を引きました。



牡鹿 新春祝い「書き初め」挑戦

介護予防教室 福笑いも楽しむ

牡鹿地域包括支援センターが運営する介護予防教室は1月9日、新春恒例の書き初めを牡鹿保健福祉センターで行いました。男性会員の「メンズカフェ」と女性会員の「みさきカフェ」合わせて25人が参加し、元牡鹿町教育長の加藤進さんの指導で「今年もよろしく」「子の年」と書きました。書のほかに、童心に帰って福笑いや干支のネズミ、だるまの塗り絵も楽しみました。



北上 無火災と家内安全を祈願

本地地区で春祈禱の獅子舞

本地地区で2月2日、秋葉神社の「春祈禱」が行われ、獅子舞が地区内47戸を訪問し、一年間の無火災と家内安全を祈願しました。本地自治会が主催する2月の恒例行事。関係者らが秋葉神社で神事を行った後、本地獅子舞保存会のメンバー12人が各家々を訪問。太鼓と笛を鳴らしながら、家の中で獅子舞を披露し、厄を払いました。訪問を受けた家では、メンバーに飲み物や食事などを振る舞って感謝しました。

